



園だより

文京区立第一幼稚園
令和5年度9月号

URL <http://www.bunkyo-tky.ed.jp/dai1-kg/>

乗り越える力、共に歩む力

園長 田村 秀子

いつのまにか、涼しい秋の風が吹くようになりました。空を見上げると夏の入道雲に替わり、うろこ雲やいわし雲など秋の雲も見られます。屋上の水たまりには、トンボも飛んできました。

今年の夏は暑い、暑い夏でしたが、夏休みの間、元気に過ごせたでしょうか？預かり保育で園に来ていた子供たちも、しっかりご飯を食べ、木陰や寒冷紗の下のプールで体を動かし、食後はゆっくり体を休めて、毎日元気に過ごすことができました。引き続き、体調管理に努めていきましょう。

今日の始業式では元気いっぱいの子供たちに会うことができ、大変嬉しく思いました。暑い夏を乗り越えて、子供たちは一段とたくましくなったようです。久しぶりに会う大勢の友達と園歌を元気に歌ったり、園庭の植物の変化に驚いたりしていました。これから友達とのつながりを取り戻し、いろいろな遊びにチャレンジしたり、自分の感じたことや考えたことを表現し合ったりして、充実した2学期にしてほしいと思います。生活のリズムが戻るまで時間のかかるお子さんや時々不安になるお子さんもいると思います。少しずつ園生活の楽しさを思い出し、生活のリズムを取り戻していけるよう、園と家庭で連絡を取り合っていきたいと思います。

さて、今年の夏は久しぶりに飛行機に乗り、山口市で行われた教育研究会に参加しました。記念講演会の講師は、山口県出身のブラインドランナーで東京パラリンピックの金メダリスト 道下美里さんでした。鮮やかなジャージ姿で会場に現れ、元気いっぱいに、素敵な笑顔でお話されました。

彼女が中2で右目を失明し、25歳で左目の視力もほとんど失って、家に閉じこもり落ち込んでいた時、彼女の気持ちを変えたのはお母さんの一言だったそうです。それも直接の会話ではなく、お母さんが友達と話していたのを聞いた時のこと。「お宅の娘さん、目が見えなくて大変よね」という言葉にお母さんは「大変と思ったことないけどね」と答えていたそうです。それでその強い言葉にハッと「自分は何をしていたんだろう」と思い直し、お母さんの勧める盲学校に行くことにしたとのことでした。盲学校で出会った友達に、自分が困っている時や助けてほしい時にどうしたら伝えられるのかを学ばせてもらい、芝生の上を走っている時に陸上部の先生と出会い、走る楽しさ、挑戦する楽しさに気づき、皆が喜んでくれることが嬉しくて走り続けたとのことでした。走る時の伴走、大会の情報収集やエントリー、移動、栄養管理など様々な方のサポートを受け、今では「チーム道下」が100人いるとのこと。伴走者の声を動画で見ましたが、道下さんと出会うと誰もが一緒に頑張りたいようになってしまうようでした。パリ大会優勝に向けて、日々自分を分析し、計画的に挑戦し続けている道下さん。道下さんの明るさと何があっても乗り越える力、「チーム道下」の皆さんの互いに思いやる心、共に歩む力に勇気付けられました。

子供たちにも、心や体の基礎がつくられる幼児期に、困難を乗り越える力や共に歩む力の芽を育てていきたいものです。一人一人の姿を見つめ、遊びの中で試行錯誤して頑張る姿や仲間と共に歩もうとする姿を応援していきたいと思います。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。